

小学校 英語

Just Now

コミュニケーションへの態度を育てる！

担任だからこそできる英語活動

大澤 克代 Osawa Katsuyo
(栃木県岩舟町立岩舟小学校)

1. はじめに

私は、内地留学生として宇都宮大学で「英語活動の在り方」を研究し、以来、「担任だからこそできる英語活動」を基本に研究を進めてきました。小学校は中学校のような教科担任制ではなく、学級担任制ですから、登校してから下校するまでの間、教師と児童は常に一緒です。だからこそ、児童一人ひとりの能力や性格、家庭環境などにいたるまでの全人格を把握していると言っても過言ではないでしょう。私は、そんな担任だからこそできる「単に英語力を育てることを目的とせず、積極的にコミュニケーションをとろうとする態度や、友達を認め合う心を育てる英語活動」を目指して日々実践を続けています。

2. 授業の実際

では、実際の授業の様子を2つ、ご紹介します。まず、1つめは「ALTにお任せ」な英語活動からの脱却を目指して行った4年生での単元「英語劇を楽しもう」です。このクラスには劇遊びを好む児童が多かったため、英語の絵本を読み聞かせるだけにとどまらず、英語劇にまで発展させることにしました。劇を通して、「英語に親しむとともに、言葉だけでなく、身振り手振りや表情などを工夫して意思を伝達しようとする態度を育てること」をねらいとしました。

また、学級担任の利点を生かして授業時間だけでなく、朝の会や帰りの会、給食の時間などを利用して、繰り返し繰り返しCDを聞かせることで、子どもたちは無理なくせりふや歌を覚えることができた

4年生 英語劇を楽しもう(全10時間) 指導案

ねらい	お話を十分に楽しみながら劇化する活動を通して、英語の音やリズム・イントネーションに慣れ親しむと共に、英語及び日本語で表現する喜びを味わう。
国際理解関連	国際社会において必要とされる、相手の立場を尊重しつつ、自分の考えや意思をしっかりと表現できる態度を身に付ける。
英語表現等	Okay. Here it is. / All right. Tea time! / Are you ready? We're ready. / Don't sit there. Sit next to me. On the toolbox. Etc.
単元の過程	1 読み聞かせ (1時間) ・絵本を英語と日本語で聞く。(CD) ・劇にしてみたい場面を選ぶ。 2 劇活動 (8時間) ・興味のあるところ、演じてみたい場面を英語で劇にする。(劇にできる場面を少しずつ増やしていく。) 3 発表 (1時間) ・劇を「総合・わくわく発表会」で保護者に発表する。



練習風景



発表会

3年生 世界の祭り(全5時間) 指導案

ようです。練習を進めるにあたっては英語嫌いをつくらないよう、あくまでも英語の音やリズム・イントネーションに慣れ親しませ、体を動かし楽しみながら活動することを心がけました。

英語劇の発表を終え、教室に戻った私に向かって1人の女の子が目を輝かせながら聞いてきました。「ああ、楽しかった。先生、次は何の劇をやるの?」このことから、子どもたちがいかに楽しんで英語劇活動をしていたかが分かります。

次はボランティア・イングリッシュ・ティーチャー(VET)やALTとのT-Tで行った3年生での単元「世界の祭り」です。英語の発話などの場面ではVETやALTにアシストしてもらいながら授業全体は担任が進めていきました。

本単元では、「積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育てること」と、「世界の祭りについて興味を持つこと」を目標にし、毎時間ごとにメイン活動には意図的に目標表現や語彙を使つてのペア活動を組み入れてみました。

実は、このクラスで初めて英語活動の授業でペアを組ませようとしたとき、2人組がつかれなかったのです! 仲のよい友だちとしかペアになれないその様子を見て、驚いたと同時に悲しくなりました。そして、それまでの授業でいかにこのような形態の活動がなかったかが、容易に推測できました。クラスの中でも偏りのある人間関係しか築けていなかったのだと思います。そこで、以来、できるだけペア活動やグループ活動を体験させるようにしていきました。まるで結婚相手を決めるようにドキドキと相手探しをしていた子どもたちが、ゲームに夢中になることで、次第にどんどんとペアを組めるようになってきました。そして、普段はあまり言葉を交わすことのない人と気軽に“Hello!”と握手することで、クラスの人間関係が円滑になってきたような気がしました。

なかでも、友だちと話すことが苦手だった女の子が「英語をやるようになって、たくさんの友だちと話せるようになってうれしい」と言ってくれたときは英語活動をやってきて本当によかったと思いました。

時	形態	ねらい	主な学習活動
1	ALTとのT-T	<ul style="list-style-type: none"> 世界の祭りについて興味を持つ 文房具についての英語表現に慣れ親しむ。 友達と協力しながら進んで活動し、コミュニケーションを図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 祭りの紹介(ALT) 復習 今週の歌を歌う。 Chants リレーゲーム メイン活動 クイズ(リスニング) 本時を振り返る。
2	VETとのT-T	<ul style="list-style-type: none"> 世界の祭りについて興味を持つ。 家族や友達を紹介するための英語表現に慣れ親しむ。 友達と協力しながら進んで活動し、コミュニケーションを図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 祭りの紹介(VET) 復習 今週の歌を歌う。 Chants リレーゲーム メイン活動 クイズ(リスニング) 本時を振り返る
3	VETとのT-T	<ul style="list-style-type: none"> 世界の祭りについて興味を持つ。 	<ol style="list-style-type: none"> 祭りの紹介(ALT) 復習

もちろん、ペア活動がスムーズに進んだのは、チャンツや歌を1日に何度も繰り返し聞かせることで、目標表現や語彙がどの子にも十分にインプットされていたからだということは言うまでもありません。

3. おわりに

私は今春に異動して、現在6年生を担当していますが、6年生ともなると間違いを恐れたり、人前で英語を話すことに妙なてれを感じてしまったりする気持ちが強くなってきているのがわかります。中学生ともなればなおさらでしょう。だからこそ、小学校で「英語に慣れ親しむとともに進んでだれとでもコミュニケーションをとろうという態度を身に付ける」ことが必要なのだと思います。小学校で中学校の前倒しでない英語活動の体験があれば当然中学校での「英語科」が変わってくるはずでしょう。ひいては「英語が使える日本人」へとつながっていくのではないのでしょうか。